マテリアリティ(重要課題)の特定

ウッドワンは、環境、社会、労働に関する多岐にわたる課題の解決に注力し、社会貢献と持続可能な社会の実現を目指しています。2022年度には、当社グループが優先して取り組むべき項目を経営のマテリアリティとして特定。事業活動を通じて、これらの重要な課題の解決と企業価値の向上に取り組んでいます。

マテリアリティの特定プロセス

STEP 1

課題の認識

・事業活動に関連する社会課題や、事業環境及びサステナビリティレポートのガイドライン(GRIスタンダード、環境報告ガイドライン)を分析して課題を抽出

STEP 2

課題の整理

・抽出した課題に関連するステークホルダーと当社グループにおける課題の重要性を整理

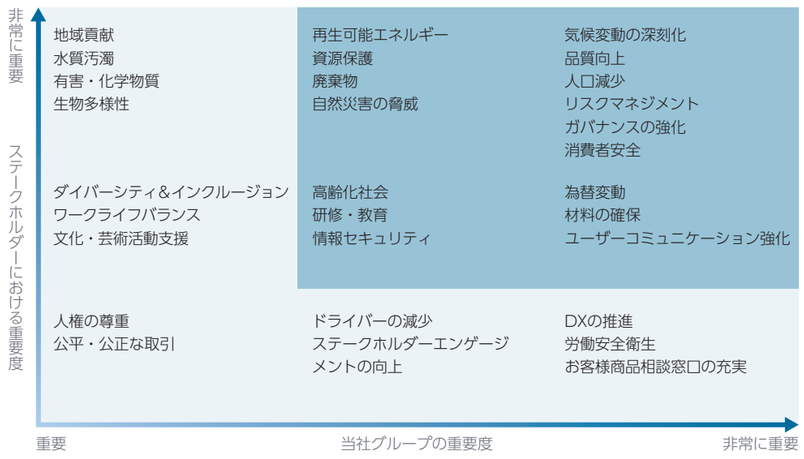
STEP 3

マテリアリティの特定

・抽出した課題と事業活動を戦略統括本部が評価し優先順位付け
・優先順位の妥当性を経営層が精査しマテリアリティを特定

特定したマテリアリティ

事業活動に関連する社会課題、ニーズをステークホルダーにおける重要度と当社グループの重要度により整理及び評価し、優先順位付けすることでマテリアリティを特定しています。



事業におけるESGのマテリアリティ

E
環境
Environment

1
森林育成・保全を
地球環境の
最重要課題とした
持続可能な経営

S
社会
Social

2
安心・安全・快適な
住空間の実現
3
労働生産性向上の実現
4
挑み、成長できる組織
づくり

G
ガバナンス
Governance

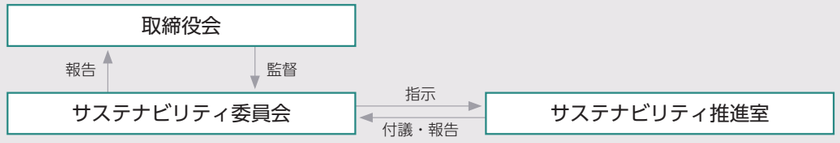
5
公正かつ健全な
事業活動の継続

サステナビリティの推進体制

当社は、自然と人が循環共生する持続的な社会と企業の持続的な成長を同時に目指すサステナビリティ経営を推進することを目的として、代表取締役社長を委員長とするサステナビリティに関する専任組織である「サステナビリティ委員会」を設置しています。

サステナビリティ委員会の主な役割は以下の通り。

1．基本方針や戦略、重要課題(マテリアリティ)の審議、決定
2．基本方針や戦略、重要課題(マテリアリティ)に沿った施策の推進及び目標に関する進捗管理
3．その他上記すべてに関連する事項

また、サステナビリティ委員会の事前協議機関として、戦略統括本部内にサステナビリティ推進室を設置しています。

組織体制